演目の説明

土蜘蛛（つちぐも）

　葛城山から、源頼光（みなもとのらいこう）の館をめざした土蜘蛛の精魂は、病に伏す頼光の薬を取りに行く頼光の侍女、胡蝶を取り喰らい、胡蝶に化け、薬を毒薬に取り替えて頼光に飲ませ、殺そうとします。

　しかし、頼光はこれに気付き、土蜘蛛は一太刀浴びせられると共に葛城山へ逃げ帰ります。おなじみの四天王はこれを追い、葛城山で退治します。この演目は別名「葛城山」とも呼ばれています。

見どころ

　糸を飛ばして四天王をからめ取ろうとするなど、正体を現した土蜘蛛が様々な妖術を使う場面が見どころの一つです。